

## 令和5年度 第9回上郷地域会議 会議録

- 日時 令和5年12月19日(火) 午後7時から8時30分まで
- 場所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
- 出席者 委員 : 13名(欠席 3名)  
事務局(上郷支所): 近藤支所長、小船担当長、伊藤主査

### ■次第

「豊田市民の誓い」唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 協議事項
  - (1) 令和5年度第8回上郷地域会議の会議録について
  - (2) 答申に向けた協議について
- 3 報告事項
  - (1) 上郷地区「防犯の日」について
  - (2) 上郷地域バスについて
- 4 事務連絡
  - (1) 次回の地域会議日程について

### ■議事(要約)

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 協議事項
  - (1) 令和5年度第8回上郷地域会議の会議録について

- ・第8回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。
- ・前回会議で出た防災に関する質問について、事務局から説明があった。

#### 【質問・意見】

- ・想定浸水深の看板の件について、変更理由が二次元バーコードを追加したことに伴うスペース不足ということであれば、看板を大きくしたり、字を小さくすればいいのではないかと。二次元バーコードは読み取って始めて確認できる。そうではなく、パッと見て理解できないと情報が伝わらない。また、二次元バーコードが確認できるハザードマップなんて高齢者は字が小さくて見られない。担当課は何を伝えたいのか。すぐにまた更新されるのであればまだ理解できるが、今後何十年と掲示されるのであれば、作り変えてもらいたい。今回の看板の更新により、千年に一度の大雨が降った際には支所は指定避難場所ではなくなった、ハザードマップの情報が間違っていると区民は理解している。正しい情報に直してほしい。  
⇒(委員)市役所だけでなく、地域の人や団体の中にも正しくない情報を発信していることがある。畝部小学校の屋外階段についても、一時退避場所という扱いで作られたはずなのに、指定避難場所だと発信している人や団体がいる。いざ災害が起きたときに正しいアクションを取れない状

況。正しく統一された情報を常に発信して、区民が否応なしに受け取れる形を作らないといけない。

⇒（委員）この看板は、過去の地域会議で浸水深が分かる看板を付けてはどうかという提案により設置された。看板を見て、ここまで水が来るという危機感を持ち、それぞれの家庭で避難方法を相談したり、自治区で勉強会を開いてほしい、という注意喚起として作られた看板だと思う。

## （２）答申に向けた協議について

### ① 事務局説明

・答申に向けた協議について、事務局から説明が行われた。

### ② 全体協議

・答申書（最終案）を基に協議を行い、「２ 都市構造について」と「３ その他」の内容を微修正することとした。  
・市長との記念撮影は行うこととした。

#### 【質問・意見】

・「２ 都市構造について」の答申書案の中で、「浄水地区や梅坪地区と差異なく～」とあるが、上郷地区とそれらの地区はかなり違いがあると思う。上郷地区は、それらの地区と同じまちを目指すのか、それともそれらの地区と違った上郷地区を目指すのか、委員の皆さんの意見を伺いたい。

⇒（委員）浄水はもともと何もなく上郷に近い地域だったようなところから、新しい家が立ち並び、スーパーができて、若い人たちが望んで行く場所になっている。上郷が、人が集まって活気づいた地区を目指すのであれば、答申書案の表現が分かりやすいと思う。ただ、今の田んぼがあるのどかな風景を望まれる方も多いと思うので判断が難しい。

⇒（委員）中学２年の孫に、上郷地区は都市拠点の一つになっていると話したところ、交通機関がなく、飲食店や薬局も少ない、生活がとてもしづらく、田んぼばかりで、これを都市というのかと驚かれた。愛知環状鉄道の駅はあるが、周囲にパーキングがなく、どこにも行くことができない。これから都市拠点としてひとつひとつ整備していくということであれば理解できるが、ずいぶんかけ離れた都市拠点だと感じた。

⇒（委員）全ての拠点が浄水や梅坪と同等である必要はない。バランスをみながら全体的に利便性を上げていくことが大切ではないか。

⇒（委員）上郷地区も都市拠点になっているんだったら、浄水や梅坪と同じようなレベルにしてほしい。上郷地区には拠点らしきものがないので、そういったものをいれていく計画にしてほしい。

⇒（委員）息子が海外にいるが、戻ってくる頃にここに住みたいという思うようなまちであってほしい。今の上郷ではどうなのかな、浄水や梅坪のようなまちになれば戻る気になるのかなと思う。

⇒（委員）上郷が都市拠点と考えた場合、鉄道やバス等の交通機関がどんどん出

てくることが望ましいと思う。

- ⇒ (委員) あまり発展しない上郷は、それはそれで上郷の魅力なのではないかと思う。上郷は、昔は田んぼがあって、トンボや蛍が飛んでいたというまちだったが、今はそれもなくなって、中途半端になってしまった。ここに商業施設を建てるというイメージが湧かない。
- ⇒ (委員) 答申案としてはこれで良いと思うが、個人的には子どもの頃から住み慣れたまちなので、今のままで十分かなと思う。ただ、交通を便利にしてほしいという希望はある。
- ⇒ (委員) 皆さんとイメージが違うのが、浄水や梅坪に都市というイメージを持っていない。浄水や梅坪で若者が楽しめる場所があまり思いつかない。少し浄水や梅坪にイメージを抱きすぎではないか、上郷は上郷独自の都市拠点を目指してはどうか。
- ⇒ (委員) 浄水地区や梅坪地区と同じにならなくてもいいが、多少発展していくことを望む。答申書案としては、これでいいと思う。ただ、浄水や梅坪と上郷では人口が違う。上郷に商業施設ができないのは消費者が少なく商売が成り立たないからだと思う。飲食店に関しても上郷の人は外食する人が少ない。そういったことを考えるとなかなかまちにならない。また、畝部と高嶺の中心部から外れたところは、市街化調整区域で農業振興地域だから基本は発展しない。農業で儲かる制度を国・県・市が仕組みとして作らないといけない。
- ⇒ (委員) 市街化区域と市街化調整区域とでは歴然の差がある。旧町村の大部分は都市計画法の区域外のため都市計画法の規制を受けない。旧町村でお店を作っても人が来るかどうかという問題はあるが、上郷地区は建物に関して非常に不便な法律で規制されている。9総で「えきちか居住誘導エリア」があるが、市街化区域しか手が付けられないから、これはこのままでいくしかないのかなと思う。
- ⇒ (委員) 長野県のP P K (ピンピンコロリ) というニュースを見た。長野県は平均寿命が男女ともに日本で医療費の支払いも少ない。要因としては、食べ物やのどかな環境、畑仕事等高齢者でもやることがあることにあると言われている。病院やスーパーがあり、高齢者の働く場があり、息抜きのためののどかな風景がある、そんな環境づくりを目指していければいいのではないか。
- ・ 愛環の駅周辺にいますぐスーパーを作るとなると大変だが、愛環の駅周辺に駐車場があれば豊田市の中心市街地や岡崎へのアクセスが向上するのではないか。
- ・ 皆さんが思っている都市拠点に必要なものは何か確認したい。現状の上郷地区には、スーパーや病院があり、高速道路のインターチェンジもあり、愛知環状鉄道もある。
- ⇒ (委員) まちの形態を重要視しているわけではなく、交通のアクセスが確保されていて、住み良く、病院・商店が身近にあり、楽しく生活できるまちをイメージしている。今のまま放っておくと、高齢者が増え人口が減り、若者が減りさらに人口が減る。当然まちとしての力を失うから、

まちとしての機能も不要になり、今以上に不便になっていく。若い人が住みたいと思えるようなまちづくりを目指せば、おのずと住宅の確保や公共交通機関の確保、飲食店や病院の確保につながっていくのではないかと。浄水や梅坪がそういったまちづくりを目指しているかは分からないため、そこを真似するわけではない。答申書として他の地区を引き合いに出さなくてもいいのかもしれない。若い人が住みやすい、上郷を出て行っても戻って住みたいと思えるような衣食住のサービスが身近に感じられるようなまちづくりを、という答申にしてはどうか。

- ・「3 その他」について、チョイソコにこここバスの低料金化と書かれているが、以前、無料化という意見が出ていたと思うし、低料金化では言い方が弱いと思うため、無料化という意見も追加してはどうか。

### 3 報告事項

- (1) 上郷地区「防犯の日」について
- (2) 上郷地域バスについて

上記について、事務局から報告がされた。

### 4 事務連絡

- (1) 次回の地域会議日程について

#### ◆次回会議開催

◇令和5年度 第10回地域会議

と き：令和6年1月16日（火） 午後7時から

ところ：上郷交流館 2階 ふれあいホール